

# ごみ減量 リサイクルだより

編集・発行：環境対策課 ごみ減量推進課  
 住所：〒185-0013国分寺市西恋ヶ窪4-9-8  
 TEL：(042)300-5300(環境対策課)  
 (042)300-5303(ごみ減量推進課)  
 (042)328-2191(環境対策課環境対策係)  
 FAX：(042)326-4410

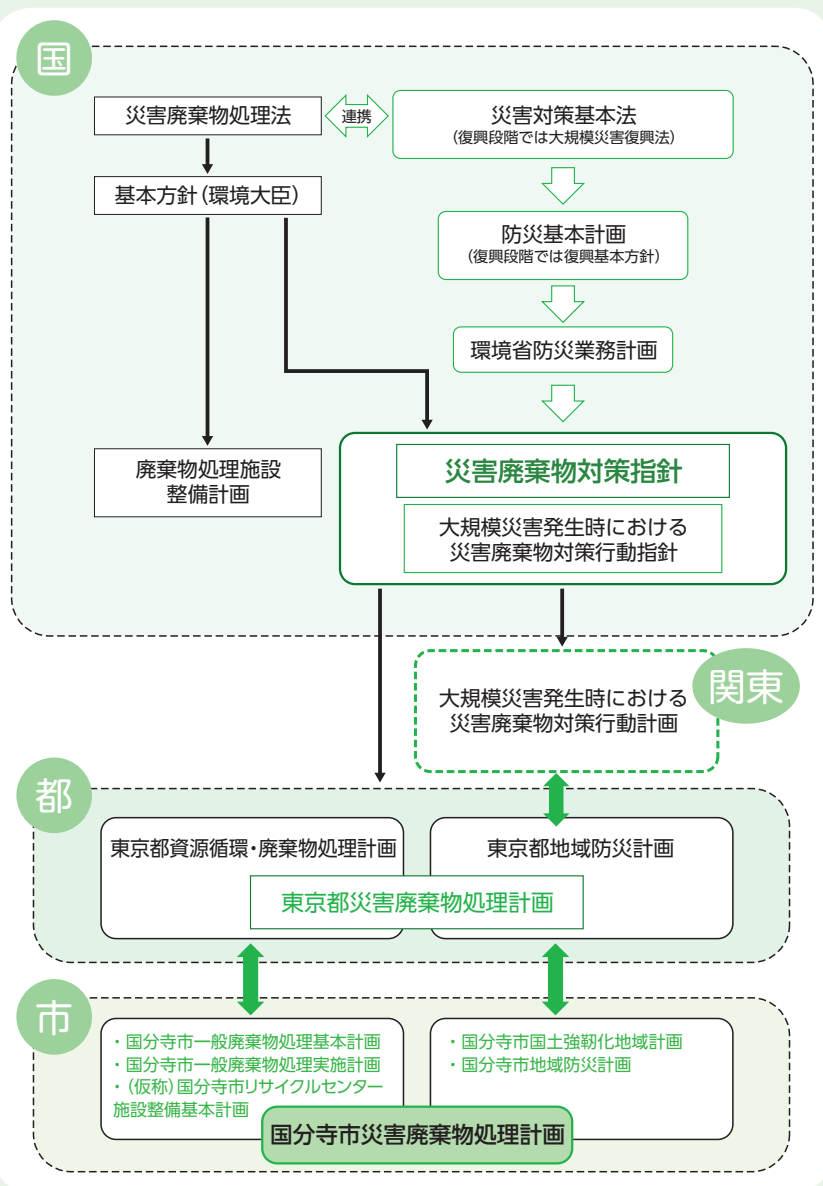
令和4年3月15日号特集号

## 国分寺市災害廃棄物処理計画を策定

大規模災害（地震や風水害等）において、平時の数年から数十年分に相当する大量の災害廃棄物が一時に発生し、その処理が自治体の大きな課題となっています。

今後発生が予想される大規模災害による被害を抑止・軽減するための災害予防、発生した災害廃棄物等の処理を適正かつ迅速に行うための応急対策、復旧・復興対策を円滑に実施するための体制構築を目的に「国分寺市災害廃棄物処理計画」を策定しました。

### 本計画の位置付け



### 本計画における主な進め方

時期区分	時間の目安	取組事項
初動期	発災から1時間後	・庁内体制の整備
	発災後1時間から24時間	・ごみ収集、集積計画、し尿処理計画の策定
	発災後24時間から72時間	・ごみ・がれき地域集積所、仮置場の確保 ・がれき処理計画策定
	発災後約1週間	・自区域内における関係主体、都外自治体、関係機関との連携 ・地域集積所の設置 ・生活ごみ、避難所ごみ、し尿処理実施 ・仮置場の設置・運営 ・自区域内における被災状況の集約 ・災害廃棄物の発生量、処理量、処理可能量（暫定値）の算定 ・市民への広報 ・環境モニタリングの実施 ・廃棄物処理施設の点検 等
応急対応期	発災から約1か月	・公費解体の受付に向けた準備 ・災害廃棄物の基本方針、災害廃棄物処理実行計画の策定 ・処理の進行管理 等
	発災から6か月	・災害廃棄物の発生量、要処理量、処理可能量の見直し ・市民への広報 ・建物損壊に伴う廃棄物の処理、公費解体の受付、解体工事 ・環境モニタリングの実施 等
復旧・復興期	発災から3年程度	・災害廃棄物の発生量、要処理量、処理可能量の見直し ・市民への広報 ・建物損壊に伴う廃棄物の処理、公費解体 ・環境モニタリングの実施 ・国庫補助金対応 等

## リサイクルコーナー

譲ってください 子ども用品、自転車、家具、家電、楽器

譲ります お茶挽き機、学習机、姿見、机、ロフトベッド、ベビーカー各種、琴、乳児用布団、すのこ、カーペット、衣装ケース、洋服ダンス、子供用服、シーリングライトなど

注●品物は日々変動があります。具体的な品名や最新の情報は市HP [検索1002183](#)をご覧ください。  
 → ごみ減量推進課 ☎(042)300-5303  
 ●譲渡は無料です。受け渡し等については、当事者間でやり取りしていただきます。

## リサイクル家具販売会

●開催日時 3月27日(日)午前10時～正午  
 ●開催場所 ストックヤード(西元町2-9-6)  
 ※当日直接会場へ

注 駐車場数台あり / 配送不可 / 混雑時は入場制限を行う場合あり / 荒天中止



## 靴・かばん・ベルト類・ぬいぐるみ・食用油の拠点収集&フードドライブにご協力を

●開催日時 3月22日(火)午前9時～11時  
 ●開催場所 光公民館 ※当日直接会場へ

●拠点収集 注 やぶれた・穴が開いた物、車輪の付いたかばん、ゴルフバッグ、スーツケース、長靴、スパイク、スリッパ、人形などは収集できません。食用油はペットボトル・缶などに入れてお持ちください。  
 ●フードドライブ 家庭で余っている、米、缶詰、瓶詰、調味料、乾物、飲料、お菓子、インスタント・レトルト食品などで、賞味期限が1か月以上あり未開封のものをお持ちください。必要とされる方へ届けます。

注 市社会福祉協議会では食品の寄附を随時受け付けています。事前にお電話のうえ、お持ちください。

問 同協議会 ☎(042)324-8311

# 日野・国分寺・小金井3市で可燃ごみを共同処理しています

## 3市ごみ減量推進市民会議とは

3市ごみ減量推進市民会議は、平成30年4月20日付「3市ごみ減量推進市民会議設置に関する協定書」に基づき、平成30年7月24日に設置されました。以来、3市の市民がごみ減量グループと情報発信等グループ二つの分科会に分かれて検討や意見交換等を行っています。

## 各グループからの3市へ2年間の成果の提案

### 1 ごみ減量施策グループ

- 3市の焼却ごみ量(可燃ごみ)ゼロを最終目標とした、3市の現状を含む「ごみ減量・資源化に向けた重点施策」
- 「重点施策」をもとに、各市で様々な施策の検討を行うこと

### 2 情報発信・環境学習グループ

- 浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設の本格稼働に伴う施設見学での児童等への啓発
- 可燃ごみ処理施設の現況や、ごみ減量等に関する情報発信の推進
- 3市の市長から市民に向けたメッセージ
- 3市市民会議としてのメッセージ

3市ごみ減量推進市民会議からのメッセージ

## 3市連携し、更なる可燃ごみの減量を！

3市共同可燃ごみ処理施設が、令和2年4月から本格稼働しました。ごみ処理の広域化は、コストの削減などのメリットがある反面、施設周辺の皆様には、焼却量の増加、運搬車両の増加等の影響もあり、ご負担をお掛けしています。この施設の共同利用には、施設周辺皆様のご理解・ご協力があって成り立っております。

私たち3市ごみ減量推進市民会議(以下「市民会議」という。)は、3市の市民を代表し、施設周辺の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。令和2年から国内で深刻化した新型コロナウイルスの波動的な感染拡大により、市民生活にも大きな影響が及んだため、廃棄量は増加していますが、今年度第3四半期までの一人1日当りの排出量は、前年比僅かながら減少いたしました。3市の皆様には、可燃ごみの減量にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

「3市の皆様、施設周辺の皆様のご負担を少しでも軽減するため、更なる可燃ごみの減量に努めましょう。」

第2期市民会議では、この2年間の検討結果について、3市に提出いたしました。(概要は上記提案の通り)  
市民会議は、2050年までに3市の焼却ごみをゼロに近づけることを目標とし、引き続き、市民目線でごみ減量施策および施設稼働状況等の3市の皆様への情報提供について、行政にさまざまな提案を行ってまいります。



宮脇委員長から設置市の日野市長へ提案書を提出しました。

## 3市共同処理・共同施策の状況

### 浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設運営状況

浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設へのごみ搬入量比較表

	令和2年度	令和3年度	前年度比 (t)
	4月～12月分 (t)	4月～12月分 (t)	
日野市	23,784.36	23,261.86	▲522.50
国分寺市	14,225.40	13,496.99	▲728.41
小金井市	10,740.88	10,793.30	52.42
合計	48,750.64	47,552.15	▲1,198.49

一人当たり搬出量表

	令和2年度		令和3年度	
	10/1現在人口 (人)	一人当たり搬出量 (t)	10/1現在人口 (人)	一人当たり搬出量 (t)
日野市	186,992	0.127	187,293	0.124
国分寺市	126,432	0.113	127,683	0.106
小金井市	123,427	0.087	124,646	0.087
合計	436,851	0.112	439,622	0.108

- 稼働開始以来、順調に運転を続けています。
- 一般の方も施設を見学することができます(要予約)。
- 環境測定(令和3年4月～12月)：令和3年度は組合が定める公害防止基準値を上回ることはありませんでした。
- 詳細は浅川清流環境組合のウェブサイト(<https://cms.upcs.jp/asakawa/>)をご覧ください。

### 水銀回収キャンペーン

令和2年度に水銀の排出量が基準値を一時的に超えたことに鑑み、その対策として「水銀回収キャンペーン」等の取り組みを実施しました。令和3年度も10月1日～12月28日に実施し、市民の皆様にご協力いただいた結果、以下のとおり集まりました。

	体温計	温度計	血压計	その他	合計
日野市	171	5	9	6	191
国分寺市	87	3	7	0	97
小金井市	55	5	4	1	65
合計	313	13	20	7	353
参考(前回合計)	556	41	42	15	654

### 使い捨てコンタクトケース回収 拠点回収 3市累計

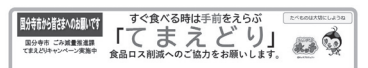
(令和2年8月から令和4年1月末)

日野市	216.58kg (空ケース216,580個分)
国分寺市	89.73kg (空ケース 89,730個分)
小金井市	185.06kg (空ケース185,060個分)

3市合計 491.37kg  
(空ケース491,370個分)

### 食品ロス削減 「てまえどり」

フードロスを防ぐための取り組みとして、国分寺市商工会、市内のリサイクル協力店、コンビニエンスストア等と協力し「てまえどりキャンペーン」を実施しています。



### 日野市長からのメッセージ

浅川清流環境組合の可燃ごみ処理施設の本格稼働開始から、約2年が経ちました。

この間、施設として安定稼働が出来ていることにつきまして、施設周辺にお住まいの皆様をはじめ、ごみの削減にご協力いただいている3市の皆様に改めて感謝申し上げます。

今後も、共同処理を行う国分寺市・小金井市としっかりと連携し、3市市民会議より提案いただいた内容を具現化し、持続可能かつ将来的な「ごみゼロ社会」を目指して、3市でさらなるごみ減量を実現できるよう、それぞれの市民のお力もいただきながら、真摯に取り組んでまいります。

引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

### 国分寺市長からのメッセージ

浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設については、令和2年4月の本格稼働から順調に運営が行われておりますが、これも施設周辺をはじめ日野市民の皆様のご理解・ご協力による賜物と改めて感謝申し上げます。

当市といたしましても、ごみの分別徹底と更なる減量・資源化に継続して取り組むことで、施設周辺の環境負荷を低減し、「清潔で環境にやさしい循環型都市」を目指してまいります。

国分寺市民、事業者の皆様におかれましては引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

### 小金井市長からのメッセージ

浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設につきましては、令和2年4月に稼働が開始され、2年が経過しようとしています。この間大きな事故もなく、安定した稼働が出来ていることにつきまして皆様にご報告するとともに、改めて、施設周辺にお住いの皆様をはじめとする日野市民の皆様及び関係者の皆様に深く感謝申し上げます。引き続き小金井市民及び事業者の皆さんには、スローガン「循環型都市『ごみゼロタウン小金井』～ごみを出さないライフスタイルへ～」のもと、発生抑制を最優先とした3Rを推進し、更なるごみの減量、資源化に取り組んでいただくよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。



### 三多摩は一つなり交流事業「浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設見学とサッカー交流戦」を実施

本市を含む三多摩地域の住民が、お互いに協力・助け合う「三多摩は一つなり」の精神に基づき、ごみを排出する側と最終処分場を受け入れている側との相互理解を深め、もって最終処分場の円滑な運営・推進を図ることを目的に行われている事業で、今年度は、11月20日(土)日の出町から「日の出仲良しFC」・「バリオーレ日の出」混成チームをお招きし、「西国分寺フットボールクラブ」との交流戦を行うと共に、可燃ごみ処理施設では、日の出町に焼却灰(もやせるごみを焼却し残った灰)を搬出するまで、もやせるごみ処理の一連の流れを見学いただきました。

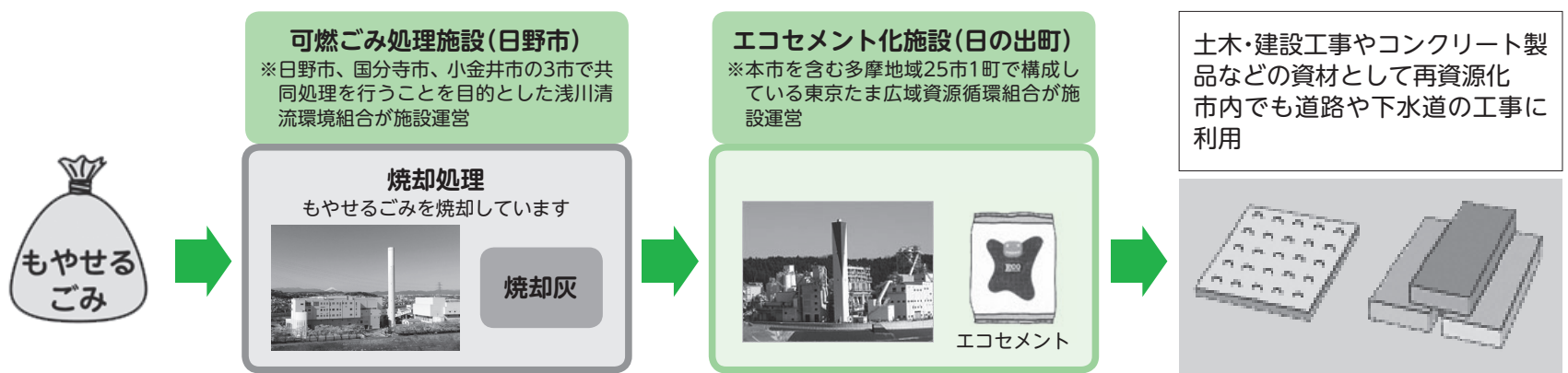


#### 日の出町参加者の感想

- ・サッカーの結果は残念でしたが、貴重な体験ができてよかった。
- ・クレーンでかき混ぜる時にごみを落とすのがすごくおもしろかったです。
- ・ごみ発電の能力がすごい。
- ・ごみの処理のされ方や行き場所、流れを知れて勉強になりました。

### ～市内から出されているもやせるごみのゆくえ～

市内で出されたもやせるごみは、日野市にある可燃ごみ処理施設に運搬し、中間処理をしています。そこで発生した焼却灰は、日の出町にあるエコセメント化施設で再資源化をしています。以前は、焼却灰をエコセメント化施設と同じ敷地内にある二ツ塚処分場に全て埋め立てていましたが、多摩地域に新たな処分場の建設用地を確保することが困難であることから、エコセメントとして再生利用することで、二ツ塚処分場を大幅に延命することが可能となりました。



### ごみ処理と再資源化は処理施設周辺住民の皆さんのご理解とご協力に支えられています

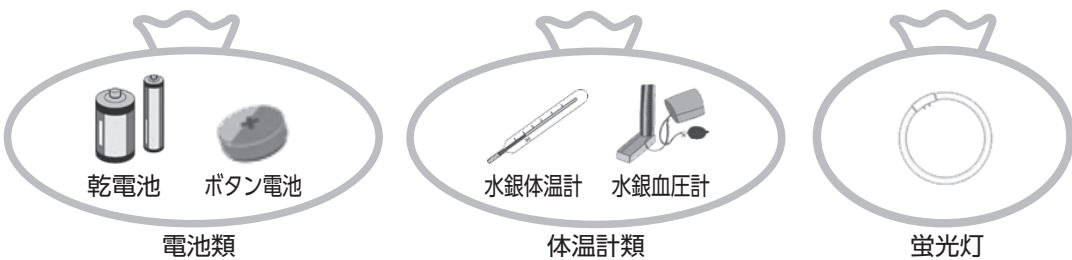
ごみや資源物処理施設は、私たちの生活を維持していくうえで欠かせない施設です。エコセメント化施設のある日の出町民の皆さん、可燃ごみ処理施設のある日野市民の皆さん、そして、もやせるごみ以外のごみや資源物の処理を行っている清掃センター周辺地域の皆さんなど、市内で出されたごみや資源物の処理と再資源化は、各施設の周辺住民の皆さんのご理解とご協力のもとで安定した処理が実現しています。各施設周辺の環境負荷軽減のためにも、市民の皆さんには、引き続きごみの減量、分別の徹底に、ご理解、ご協力をお願いします。

### 火災や環境負荷軽減、作業員の安全確保のため有害ごみへの分別徹底をお願いします

#### ●火災・爆発の恐れのあるもの (他のごみや資源物に混入すると収集車両や処理施設火災の恐れがあります。)



#### ●水銀を含むもの (他のごみや資源物に混入すると処理施設停止の恐れがあります。)



#### 有害ごみへ (有害)

有害ごみでも、ひとまとめにせず、品目ごと別々の袋に入れて出してください。

(悪い例) スプレー缶類とライター類を同じ袋で出すこと。





国分寺

## ごみダイエットかわらばん

第27号

令和4年3月15日発行

- 発行：ごみ減量推進課
- 編集：国分寺市廃棄物減量等推進委員会
- 連絡先：ごみ減量推進課 ☎(042)300-5303

特集

## プラスチックごみを減らしましょう！

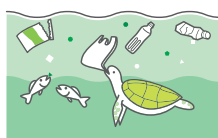
-4月1日、プラスチック資源循環促進法施行-

## プラスチック問題とは -世界的な課題-

## ◆プラスチックごみの海洋汚染

不要になったプラスチック製品が、ポイ捨てなどにより川から海に流れて、海底に沈んだり、海洋を漂流したり、海岸に漂着したりします。プラスチックごみは、海岸の景観を損なうだけでなく海の生き物に絡みついたり、5ミリ以下のマイクロプラスチックを海の生き物が誤って食べて死ぬなど、海の環境や生態系に影響を与えることが懸念されています。

世界全体で年間数百万トンものプラスチックが海洋に流出していると推計されており、このままでは2050年までに魚の量を上回る量のプラスチックごみが海洋を占めると予測されています。



海を漂うプラごみ

## ◆地球温暖化の問題

プラスチックは、燃やすと地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を多く発生します。地球温暖化は、猛暑や記録的豪雨など地球規模の気候変動を起こすとされています。



プラごみ量 &gt; 魚の量

## ◆資源枯渇の問題

プラスチックの原料である石油は有限であるため、不要なプラスチックの使用は資源の枯渇につながります。



地球温暖化

## プラスチック資源循環促進法の概要

プラスチック資源循環促進法は、プラスチック製品の設計から最終処理まで、ライフサイクルにおける3R+Renewable(再生可能)を促進しようという法律で、4月1日に施行されます。私達も、ライフスタイルを見直しプラごみを減らしましょう。

## ① 製造段階 -プラ製品の設計を環境配慮型に転換-

- プラスチックの使用量を減らす
- 解体が容易でリサイクルしやすい
- 代替製品に切り替え
- 簡易包装の推進

## ② 販売・提供段階 -使い捨てプラをリデュース-

スプーンやフォークなどの消費者に無償で提供される製品を削減するため、提供者に対し、有料化やポイント還元、代替素材への転換等を求める。対象品目・提供方法は別表の通り。

## ③ 排出・回収・リサイクル段階 -廃プラを回収・リサイクル-

市町村が行うプラ資源の分別収集・リサイクルは、容器包装プラスチックリサイクルの仕組みを活用するなど効率化する。

【別表】

提供業者	対象品目(12品目)	提供方法
百貨店、スーパー、コンビニ、飲食店等	フォーク、スプーン、ナイフ、マドラー、ストロー	・有料化 ・ポイント還元 ・繰り返し使える製品を提供 ・消費者への意思確認 ・回収し再利用
ホテル、旅館等	ヘアブラシ、クシ、カミソリ、歯ブラシ、シャワーキャップ	
クリーニング店等	プラスチックハンガー、衣類カバー	

## 私たちにできること!

~3Rを意識して、プラスチックを賢く利用する暮らしに変えましょう。~

## 【リデュース=ごみを出さない、減らす】

- マイバッグ・エコバッグを利用しレジ袋は断る。
- 過剰な包装は断り、簡易包装にする。
- テイクアウトで買う時、箸やスプーン、フォークを断る。
- 紙やバイオプラスチック等の代替素材でできた商品を選ぶ。
- 食品の保存はフタ付容器を使用し、ラップの使用量を減らす。
- 容器の角をカットしつぶして容量を少なくする。
- 屋外で出たごみは持ち帰って処分する。
- ポイ捨ては絶対しない。



使い捨てプラ



ポイ捨て禁止

## 【リユース=繰り返し使う】

- 詰替用ボトルなど繰り返し使えるものを選ぶ。
- 使い捨てカップや食器の代わりにマイボトルやマイ箸、カトラリーセットを携帯して使う。
- まだ使えるものは、フリーマーケットやリサイクルショップに出してリユースする。



詰替用ボトル



カトラリーセット



エコマーク

## 【リサイクル=再生して利用する】

- キッチンと分別し、資源としてリサイクルする。
- エコマーク付き商品や再生プラスチック商品を選ぶ。
- スーパー等の店頭回収に協力する。

2020年7月のレジ袋の有料化により、レジ袋の辞退率はコンビニは2割から7割台半ばに、スーパーは6割から8割に上昇しました。(環境省調査)これは、消費者の環境に対する意識が高まり、繰り返し使えるマイバッグを持参する行動変容に繋がったと考えられています。

4月施行のプラ循環法により、今まで当たり前のようにもらっていたプラスチックの使い捨てスプーンやフォークなど12品目が有料になったり、代替素材に転換するなど、プラ削減に向けた様々な動きが出てくると思われます。

私たち消費者も法律の趣旨を十分理解し、別項の「私たちにできること」も参考に、今、自分に何が出来るかを考え、行動に移しましょう。

SDGsの12番目に「持続可能な消費と生産」があり、2030年までを「行動の10年」と位置付けています。SDGs達成には、私たち一人ひとりの行動変容が不可欠です。(推進委員 Y・Y)

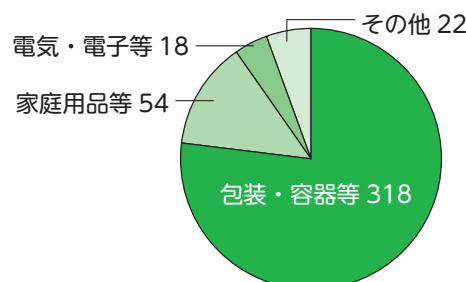
▼プラごみ削減  
意識を変え、行動を変えよう。



## 日本の廃プラの状況 (単位:万 t)

- 一般系 412
- 産業系 438
- 合計 850

[一般系の分野別内訳]



出典:プラスチック循環利用協会/2019年調査